

# 2020年12月期 第2四半期 決算説明会

2020年9月7日  
市光工業株式会社

# 目次

---

- 2020年第2四半期決算概要（2020年1月～6月）
- 2020年12月期業績見通し（2020年1月～12月）
- ポストコロナの当社戦略と見通し

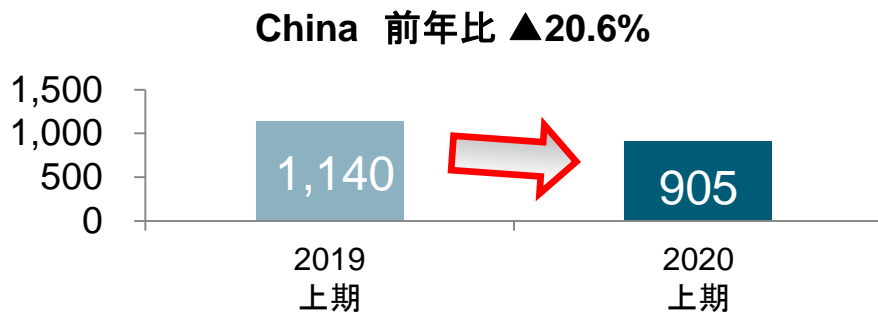
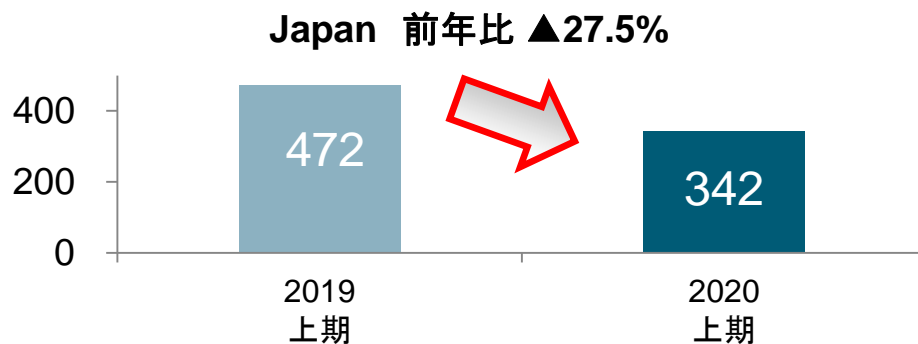
# 2020年第2四半期決算概要 (2020年1月～6月)

# 2020年1～6月 マーケット生産台数と当社売上高 前年同期比較（マーケットは速報ベース）

単位：万台

## マーケット生産台数 （出展：LMC Automotive）

## 当社売上高 VS マーケット生産台数



### 対前年同期比較

	当 社 上 高	マ ー ケ ッ ト 生 産 台 数	Outperformance
Japan	▲21.6%	▲27.5%	5.9ポイント
ASEAN	▲24.6%	▲40.6%	16.0ポイント
China	▲28.3%	▲20.6%	▲7.7ポイント

ASEAN: Malaysia, Indonesia, Thailand

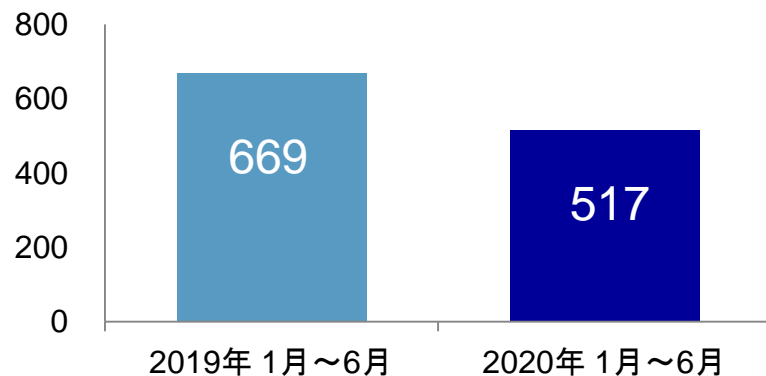
# 2020年第2四半期 連結業績概要（対前年同期比）

単位：億円/四捨五入

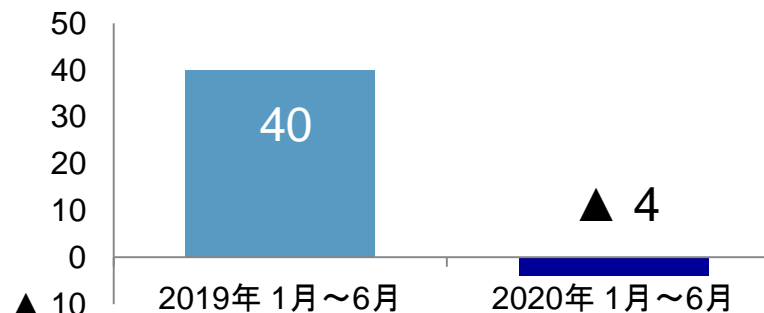
## ◆ コロナウィルスの影響により、対前年同期比、大幅な減収減益

	前年同一期間 (2019年1~6月)	FY2020 実績 (2020年1~6月)	増減額	増減率
売上高	669	517	▲152	▲22.7%
営業利益	40	▲4	▲44	-
営業利益率	6.0%	▲0.8%	-	▲6.8ポイント
経常利益	42	▲7	▲49	-
親会社株主に帰属する当期純利益	28	▲6	▲34	-

連結売上高推移



連結営業利益推移



## 2020年第2四半期地域別業績

単位：億円/四捨五入

- ◆ 日本国内 減収減益なるもコスト削減の徹底により営業利益確保
- ◆ 海外 新規立ち上げのあったタイを除き減収、全社で減益

	日本国内 (市光工業)	海外	その他	内部取引 消去等	合計
売上高	411 (525)	84 (113)	46 (52)	▲24 (▲21)	517 (669)
営業利益	6 (33)	▲4 (9)	▲1 (0)	▲5 (▲2)	▲4 (40)
営業 利益 率	1.4% (6.2%)	▲4.3% (8.2%)	▲1.1% (0.6%)	-	▲0.8% (6.0%)

市光工業：単体ベース（伊勢原・藤岡・ミラー・本社）

海外：インドネシア・マレーシア・タイ・中国

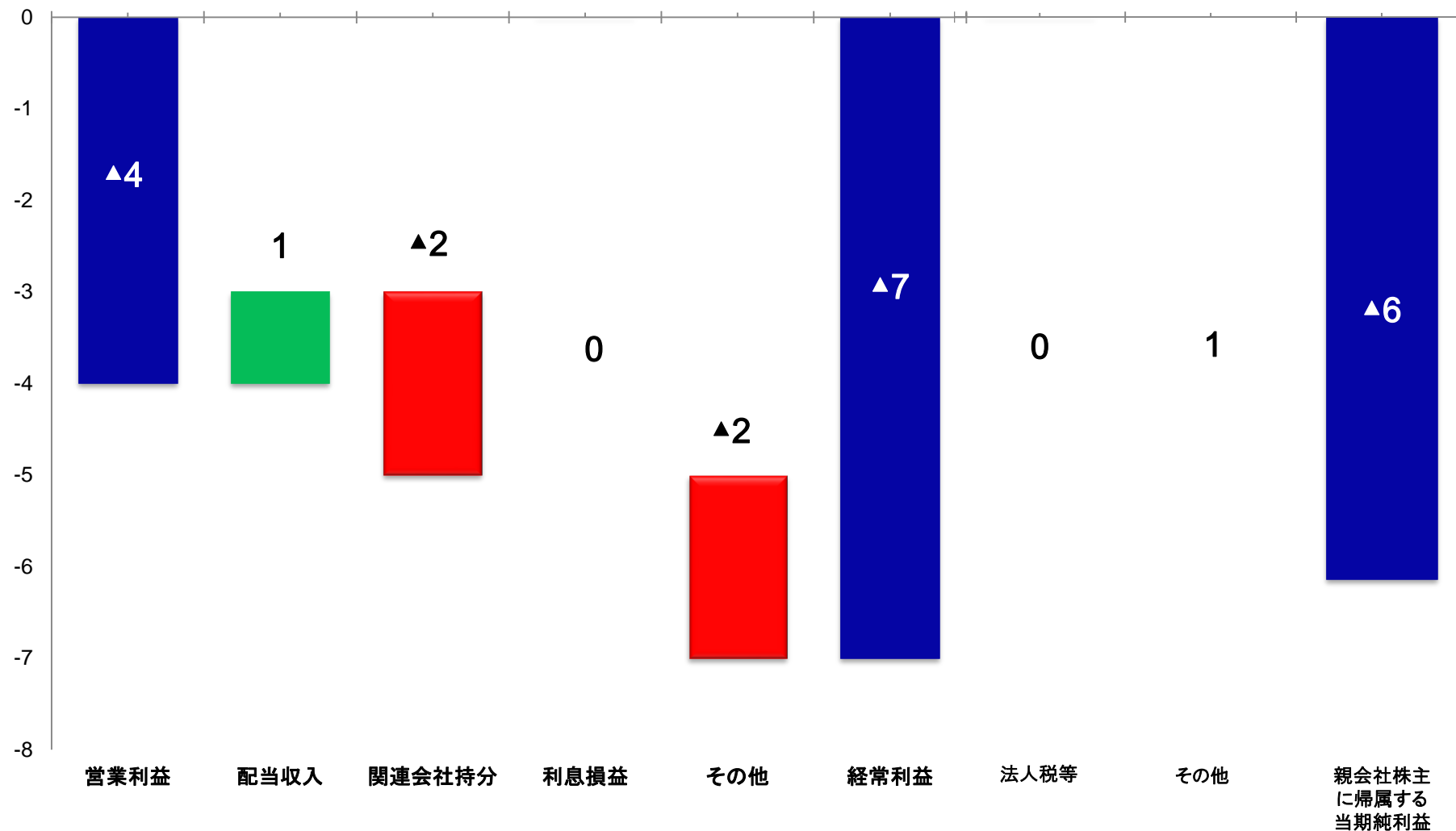
その他：用品事業（PIAA）・バルブ製造販売事業（Life Elex）

（ ）：前年同期（2019年1月-6月）の数値

# 2020年第2四半期

## 【営業利益～経常利益～親会社株主に帰属する当期純利益】

単位：億円/四捨五入



# 2020年第2四半期 業績のポイント

---

## 対前年同期比較

- ◆ コロナウィルスの影響により、国内、海外とも大幅な減収を余儀なくされたものの、中国を除き、減収幅はマーケットの生産台数減少率を下回る
- ◆ 国内は固定費の変動費化（Variabilization）、徹底的なコスト削減により営業利益確保
- ◆ 海外は新規車種の立ち上げがあったタイを除き全社減収。また、日本国内に比して固定費の変動費化（Variabilization）が困難で、全社で営業赤字計上



# 2020年第2四半期 連結貸借対照表（前年度期末比）

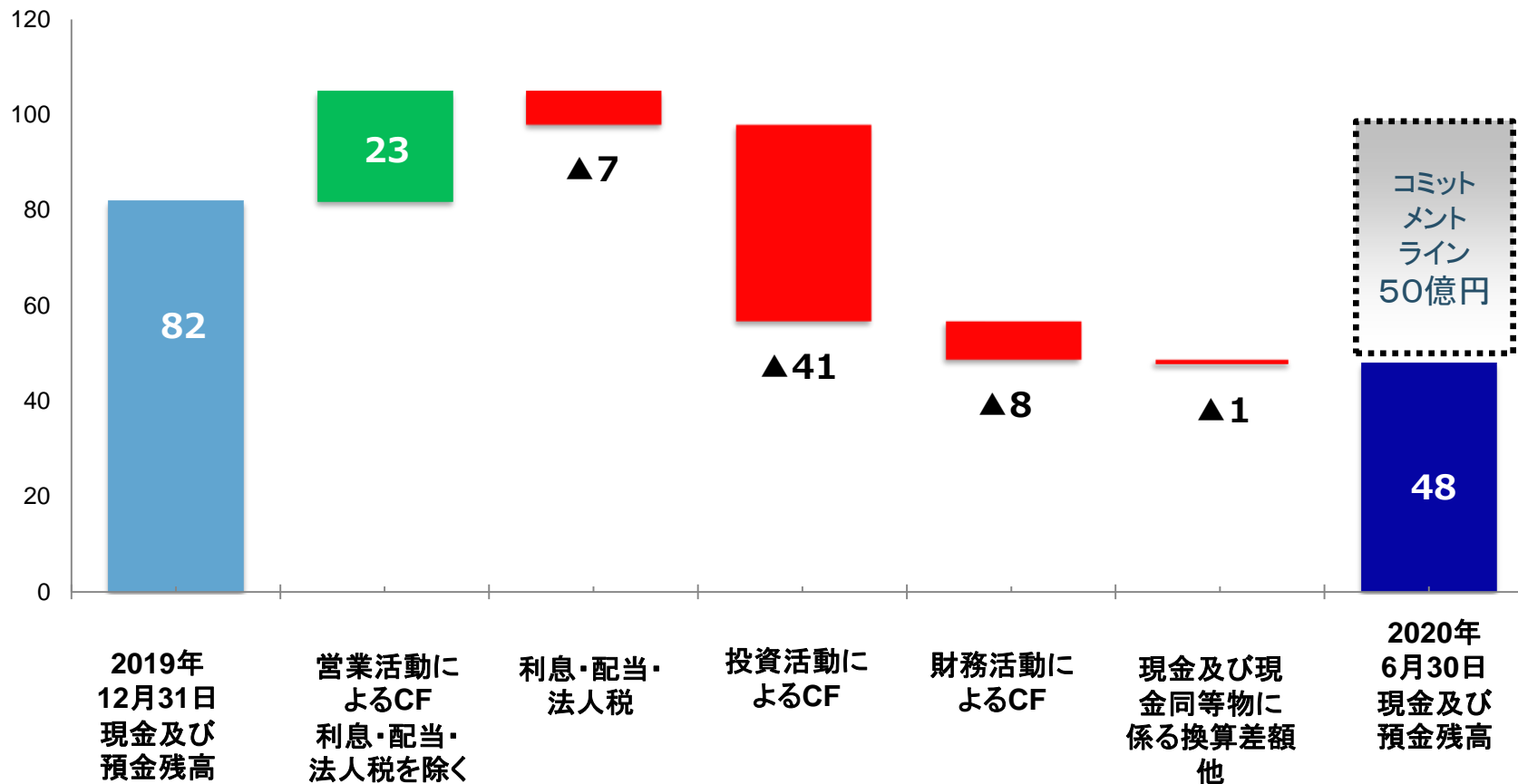
単位：億円/四捨五入

	2019/12	2020/6	増減
現金及び預金	82	<b>48</b>	▲34
棚卸資産	93	<b>84</b>	▲9
有形固定資産・無形固定資産	440	<b>467</b>	27
その他	483	<b>411</b>	▲72
<b>資産の部</b>	<b>1,098</b>	<b>1,010</b>	<b>▲88</b>
有利子負債	123	<b>118</b>	▲5
その他	521	<b>457</b>	▲64
<b>負債の部</b>	<b>644</b>	<b>575</b>	<b>▲69</b>
株主資本	457	<b>447</b>	▲10
その他包括利益累計額	▲15	<b>▲23</b>	▲8
非支配株主持分	12	<b>11</b>	▲1
<b>純資産の部</b>	<b>454</b>	<b>435</b>	<b>▲19</b>
<b>自己資本比率</b>	40.3%	42.0%	
<b>D/E比率</b>	27.9%	27.9%	

# 2020年第2四半期 連結キャッシュフロー（前年度末からの増減）

単位：億円/四捨五入

## ◆ 現預金は34億円減少したものの、50億円のコミットメントラインを新規設定し、流動性確保



# 2020年12月期業績見通し (2020年1月～2020年12月)

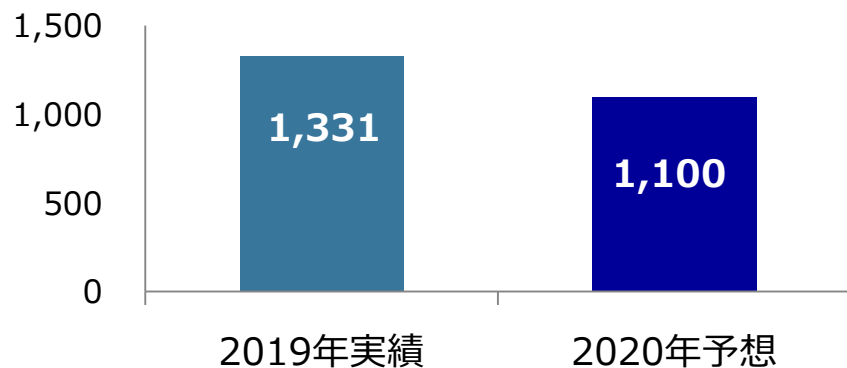
# 2020年通期 連結業績見通し

単位：億円/四捨五入

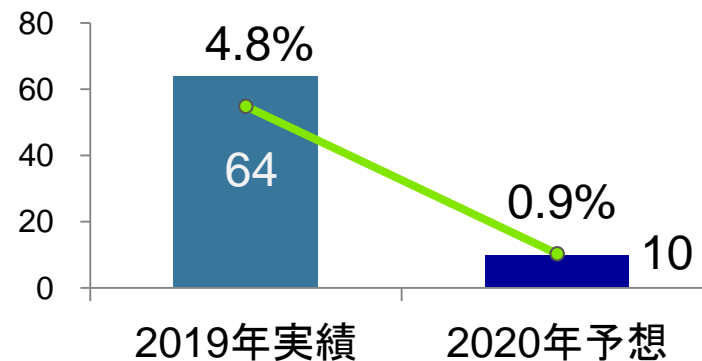
## ◆ 2020年通期では営業利益黒字化の見通し

	FY2019 実績	FY2020 予想	増減額	増減率
売上高	1,331	1,100	▲231	▲17.3%
営業利益	64	10	▲54	-
営業利益率	4.8%	0.9%	-	▲3.9ポイント
経常利益	74	8	▲66	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	52	4	▲48	-

連結売上高推移



連結営業利益推移



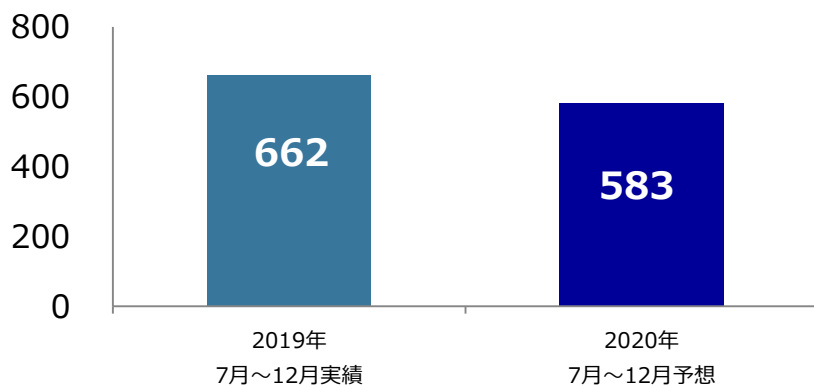
# 2020年7月～12月業績見通し

単位：億円/四捨五入

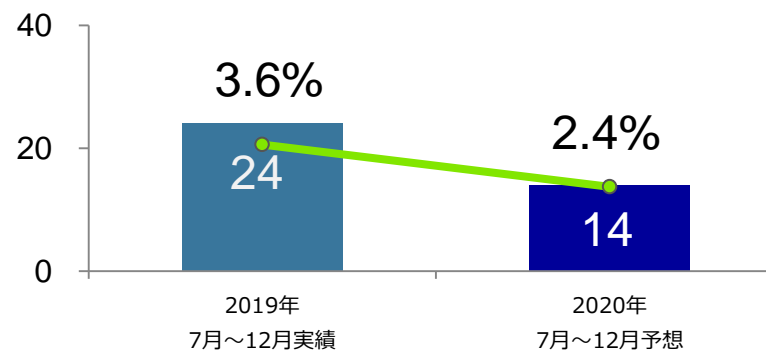
- ◆ 下期は新規車種立ち上げ効果があるものの、保守的にマーケット並みの売上減少を想定
- ◆ 引き続き、固定費の変動費化（Variabilization）等、コスト削減努力を継続

	FY2019 7月～12月実績	FY2020 7月～12月予想	増減額	増減率
売上高	662	583	▲79	▲11.9%
営業利益	24	14	▲10	▲41.7%
営業利益率	3.6%	2.4%	-	▲1.2ポイント
経常利益	32	15	▲17	▲53.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24	10	▲14	▲41.7%

連結売上高推移



連結営業利益推移



# 2020年7～12月予想 マーケット生産台数と当社売上高 前年同期比較（マーケットは速報ベース）

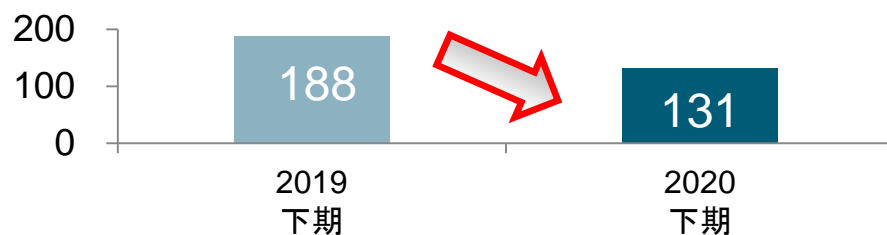
単位：万台

## マーケット生産台数予想 （出展：LMC Automotive）

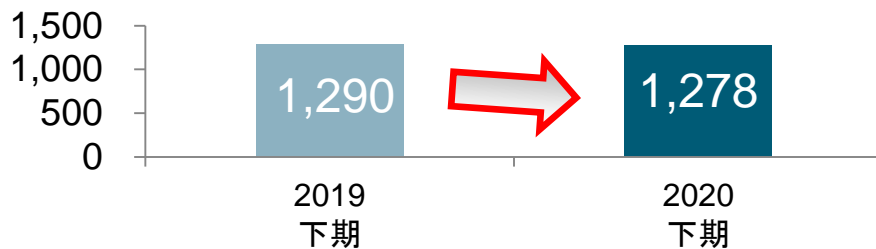
Japan 前年比 ▲9.6%



ASEAN 前年比 ▲30.0%



China 前年比 ▲1.0%



## 当社売上高予想 V S マーケット生産台数予想

### 対前年同期比較

	当 社 上 高	マ ー ケ ッ ト 生 産 台 数	Outperformance
Japan	▲7.0%	▲9.6%	2.6ポイント
ASEAN	▲28.0%	▲30.0%	2.0ポイント
China	▲1.1%	▲1.0%	▲0.1ポイント

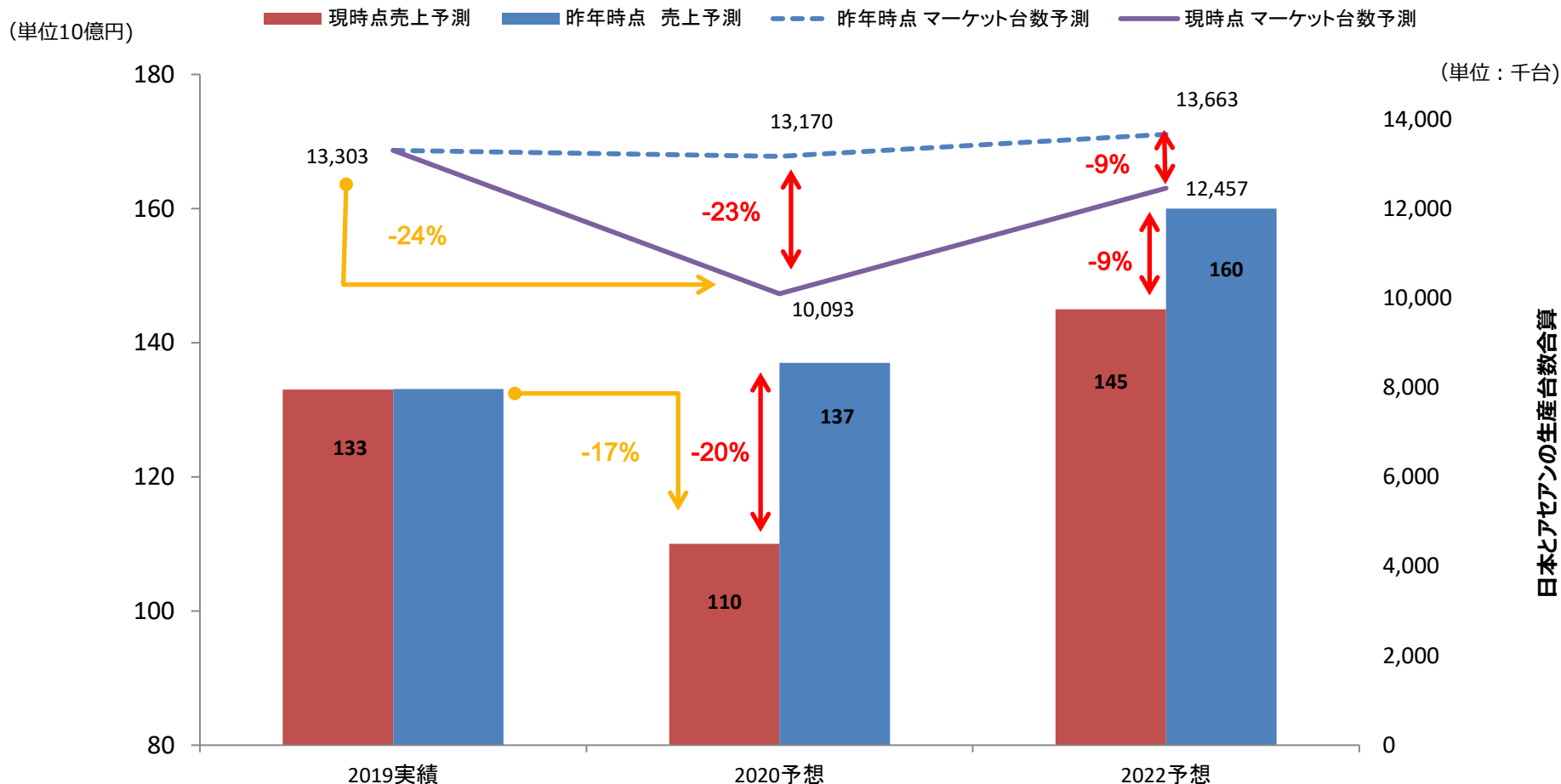
ASEAN: Malaysia, Indonesia, Thailand

---

# ポストコロナの当社戦略と見通し

# マーケット生産台数(出典:LMC AUTOMOTIVE)と当社売上高見通し

- ◆ 日本+ASEANのマーケットの生産台数は従来想定比、大幅な低下を想定
- ◆ 当社売上高もマーケット減少率と概ね同一の水準で、従来予想比減少を想定





# ポイント ポストコロナの弊社施策

## 生産性の向上

- ✓ ヘッドランプ<sup>o</sup>：厚木工場新設等による生産性向上継続
  - ✓ リアコンビネーション：藤岡製造所の更新投資は完了
  - ✓ ASEAN：立ち上げロスのコントロール強化
  - ✓ 中国ミラー：新自動化塗装ラインの稼働開始
- ➡ 年間8~10億円の生産性向上効果を目指す

## コスト構造の改革

- ✓ 売上見通しの低下に合わせて、固定費構造も徹底的に見直し
  - 早期希望退職者の募集
  - ヴアレオとのシェアードサービスの一層の推進
- ✓ 研究開発費コントロールの継続
  - ヴアレオ・市光のLCC開発拠点の活用加速化

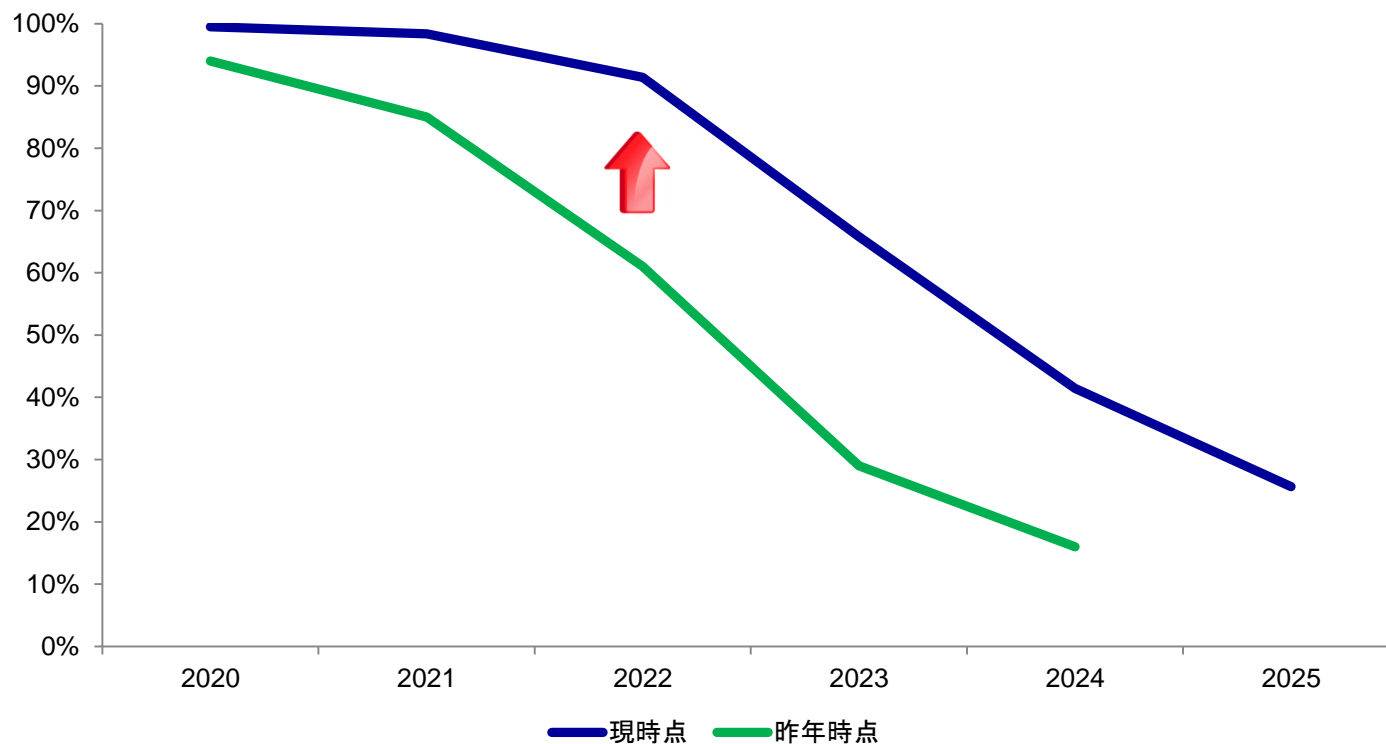
## 高付加価値化

- ✓ 以下の要因から不可欠
  - マーケットが従来予想比縮小中でのシェアアップ<sup>o</sup>達成
  - 高付加価値化による単価下落圧力の打ち消し
- ✓ ヴアレオとの共同開発・連携を加速。顧客へのタイムリーかつ的確な製品提案を実施

# BOOKED RATIOの進捗状況

各年別のBooked Ratio\*は 昨年来の順調な新規受注により、着実に上昇

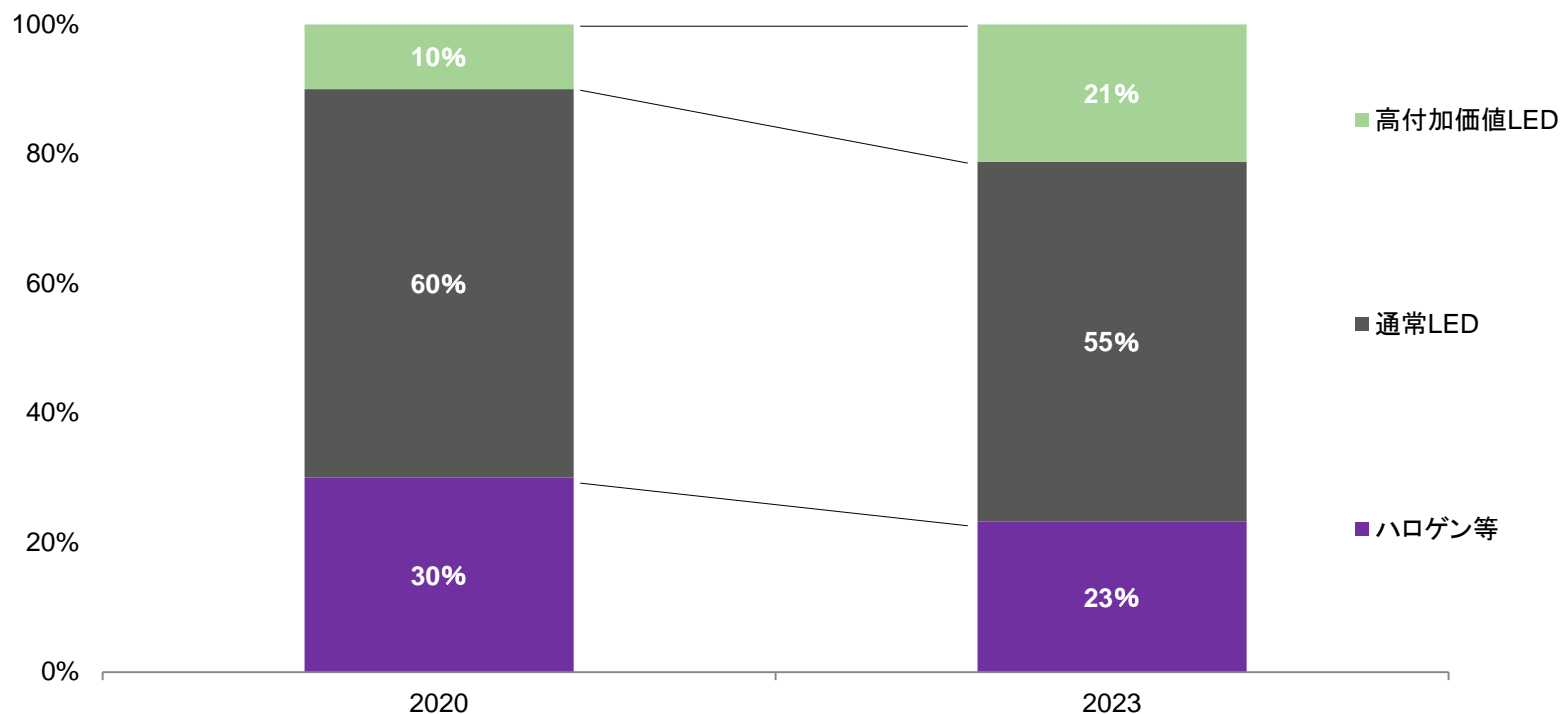
\* Booked Ratio: 各年の想定売上高に対して既存製品と新規受注確定済み分が占める割合



# 高付加価値製品比率予測

## LED比率、高付加価値品比率は着実に上昇の見込み

ヘッドランプに占める高付加価値品比率（日本、数量ベース）



## 開発中の先進技術 事例

### 高解像度ヘッドランプ “Monolithic”

マイクロLEDアレイ光源と電子デバイスによって、光をピクセル単位で制御し、ドライバーの運転をサポートする技術



技術の利用例) 路面描画による運転支援

### 次世代シグナルランプ “Communication Lighting”

光を使って意思疎通を図る、自動運転車時代における新しい役割のライティング技術



技術を搭載した車両のイメージ

## 早期希望退職募集

### 2020年第2四半期報告書(2020年8月17日付発行)での後発事象開示

当社は2020年8月7日開催の取締役会において、早期退職者の募集を行うことを決議いたしました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を主因とした需要の減少により、自動車生産台数が減少する中で、当社グループとして経費の変動費化を徹底しております。しかしながら、今後の需要見通しも踏まえた成長戦略を推進するうえで、費用構造の一層の変革を図る必要との判断のもと、希望退職者の募集を行うことといたしました。

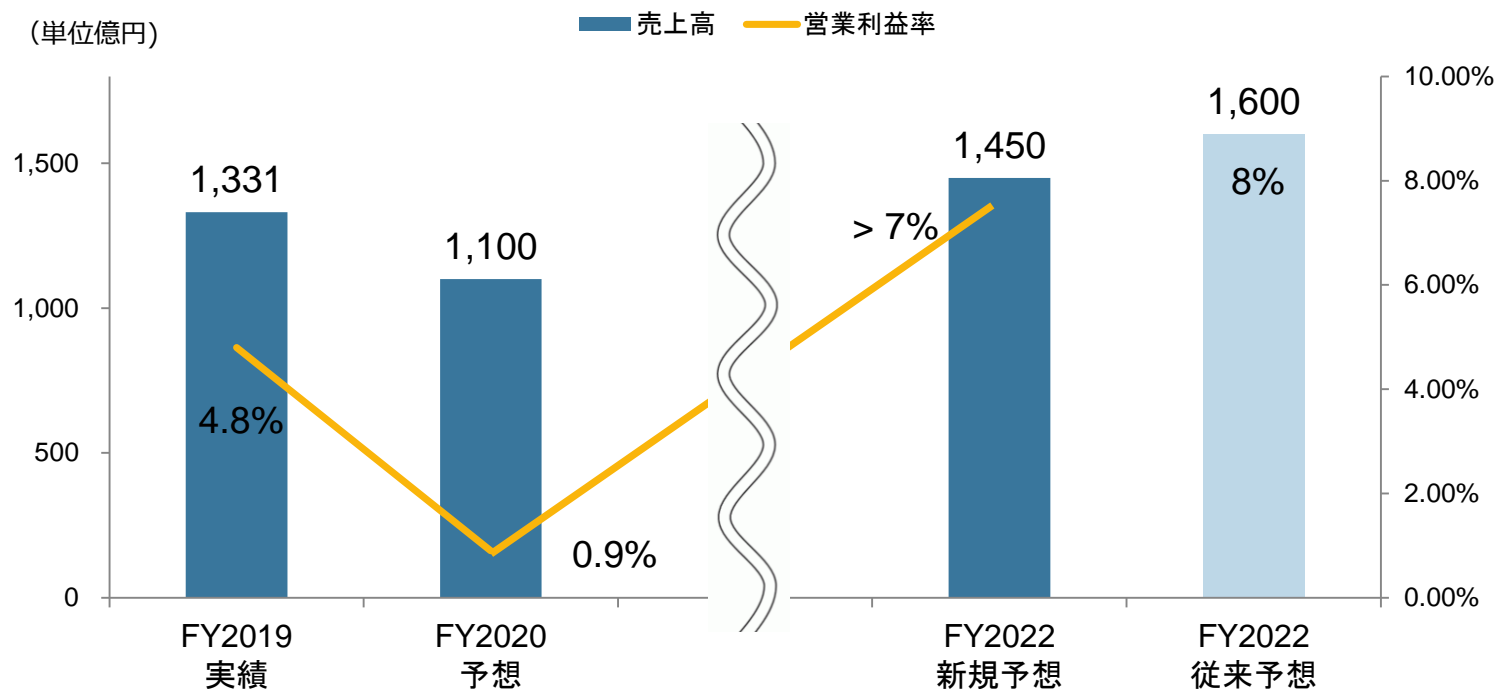
早期退職者の募集プログラムの概要は以下の通りです。

1. 対象者 当社に所属する社員
2. 募集人数 100人程度
3. 予定募集期間 2020年9月7日から10月9日
4. 退職予定日 10月31日または11月10日
5. 支援内容 通常の退職金に割増退職金を加算することに加え、希望者に対して再就職支援サービスを提供

**人件費の年間低減額としては、13億円程度を想定  
(今期予想 P12 には退職割増金4億円程度は未反映)**

## 当社中期見通し

- ◆ 2022 年の売上予想 はマーケット減少を反映して従来比引下げ：1450億円
- ◆ 2022 年の営業利益目標については、売上予想低下にもかかわらず、7%を上回る水準を目指す
  - ❖ 生産性向上と固定費削減によるコスト構造の改革
  - ❖ 研究開発費と減価償却費の増加を吸収



---

## 予測に関する注意事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

ご利用に際しては、ご自身の判断で御願ひ致します。資料に記載されている見通しなどに基づいて投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失についても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は市光工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

**ICHIKOH**  
a Valeo company